

第1回札幌市地域防災計画（原子力災害対策編） 策定に係る有識者会議 結果概要

1 日時

平成24年8月3日（金） 14:00～15:45

2 場所

札幌市民ホール（札幌市中央区北1条西1丁目） 2階第1会議室

3 出席委員

赤城委員、伊藤委員、太田委員、岡田委員、岸委員、坂下委員、近久委員、
藤吉委員（9名中8名出席）

4 会議内容

(1) 座長選出（太田委員に決定）

(2) スケジュール

(3) 計画骨子

5 委員からの主な意見

- ・ 泊発電所で事故が発生した場合、放射性物質拡散データなどの各種情報の入手方法やその伝達方法について、今後、計画に具体的に書き込むこと。
- ・ 他市町村からの避難住民受け入れについては、関係市町村と十分に事前協議をしておく必要がある。また、受け入れにあたり、活用する保有資材などについて事前調査をしておく必要がある。
- ・ 計画には、原子力災害の特徴など原子力防災に関する全体像や課題などを、はじめの段階で示しておくことにより、市民から見ても、わかりやすい計画になるのではないか。
- ・ 計画は、多くの必要な項目について書き込まれることになるため、どうしても一定のボリュームとならざるを得ないが、一般市民にもわかりやすいもの（概要版）も併せて作成しておく必要がある。
- ・ 計画策定にあたっては、行政と市民が信頼関係を構築することが、最初のステップとして重要である。